

このコーナーでは、W3C と OASIS において XML、Web サービスに関連した規格の最近(昨年の後半以降)の動向について説明する。

W3C 関連ニュース

W3C では、業界全体に影響を及ぼすような大きな動きはこの半年の間見られていない。発表された主な規格は少ないが XHTML が W3C 勧告となっている。

◇ XHTML Modularization 1.1

(W3C 勧告 - 2008 年 10 月 8 日)

これは、XHTML の拡張/サブセット化を行えるように XHTML をモジュール化した仕様であり、個々のモジュール毎に DTD および XML Schema によるスキーマ記述が行われている。XML Schema が提供されたことによって、近年ほとんどの業界標準が XML Schema を採用している中で、XHTML の取り込み (インポート) が容易になった。

データベースへの応用が期待される XQuery

は、2007 年 1 月に一連の仕様群が勧告となったが、照会機能のみであったため更新機能が待ち望まれている。また、昨今のフルテキスト検索重視の傾向に対応した規格も、まだ勧告候補 (Candidate Recommendation) ではあるが検討が進んでいる。

◇ XQuery Update Facility 1.0

(勧告候補 - 2008 年 8 月 1 日)

XQuery を拡張し、XML データ更新機能を定義した規格。

◇ Xquery1.0 and XPath2.0 Full Text 1.0

(勧告候補 - 2008 年 5 月 16 日)

XQuery 1.0 と XPath 2.0 を全文検索機能によって拡張した言語。

OASIS 関連ニュース

今年 2009 年に入ってから、OASIS 標準として承認するかどうかの投票にかけている仕様がある。

以下にその 9 つの仕様を紹介する。

- ◇ WS-SecurityPolicy 1.3
- ◇ WS-SecureConversation 1.4
- ◇ WS-Trust 1.4
- ◇ WS-BusinessActivity v1.2
- ◇ WS-AtomicTransaction v1.2
- ◇ WS-Coordination v1.2

- ◇ Web Services MakeConnection 1.1
- ◇ Web Services ReliableMessaging Policy 1.2
- ◇ Web Services ReliableMessaging 1.2

W3C での基礎規格が出尽くした感がある中で、Web サービスのコンポーネントに必要な機能をカバーする仕様が着々と OASIS 標準となっている。さらに今後は SOA という観点で XML/Web サービス関連仕様が整備されてゆくと考えられる。

(奥井康弘)